

発行 北東アジア学会事務局

新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル1 3階公益財団法人環日本海経済研究所内 〒950-0078

電話 025-290-5545 / ファックス 025-249-7550 / 電子メール jimukyoku@anears.net / ウェブサイト

<http://anears.net/>

今号のヘッドライン

【1面】 第21回学術研究大会の開催

【7面】 北東アジア学会優秀論文賞・学会奨励賞の推薦受付について

【4面】 総会・理事会・常任理事会議事

【8面】 事務局からのお知らせ

これまで「つうしん」の発行が途絶え、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。この第48号(第21回学術大会特別号)を契機として、これまでと同様の発行サイクルで「つうしん」を発行してまいります(事務局)。なお、今号は第21回大会関連のみに焦点を当て、それ以外の第47号以降の掲載事項については、次号でお知らせすることといたします。

北東アジア学会第21回学術研究大会の開催

北東アジア学会「第21回学術研究大会」は、2015年10月18日(土)-19日(日)に、富山大学五福キャンパス(富山市)にて開催されました。

開催概要

開催日 2015年10月17日(土)、18日(日)

会場 富山大学五福キャンパス(富山市五福3190)

大会テーマ 北東アジアの国際関係の打開と発展～地域間交流の現状と課題

ウェブサイト <https://sites.google.com/site/anears2015/program> ←詳細なプログラムはこちらをごらん下さい

大会スケジュール

第1日目・9月20日(土)

09:30 - 11:20 第8期第2回理事会(該当者のみ)

11:30 - 13:30 韓国語による分科会

11:30 - 12:30 編集委員会(該当者のみ)

13:00から 受付開始

14:00 - 18:00 シンポジウム

「北東アジアの国際関係の打開と発展
～地域間交流の現状と課題」

18:30 - 20:30 懇親会

第2日目・9月21日(日)

09:30 - 11:30 分科会A

11:45 - 12:00 第8期第3回理事会(該当者のみ)

12:00 - 13:30 総会(昼食)

13:30 - 15:30 分科会B

北東アジア学会第21回学術研究大会実行委員会

委員長 川口智彦(日本大学)

委員 大西広(慶應義塾大学)、三村光弘(環日本海経済研究所)、山本雅資(富山大学)

〒411-8555 三島市文教町2-31-145 日本大学国際関係学部 川口智彦研究室気付

電話 075-612-6012 / ファックス 075-612-6012 / メール conference2015@anears.net

大会での発表一覧

10月17日(土)

11:30~13:30 (韓国語による分科会)

テーマ:Northeast Asian Economies and the Korean Peninsula

会場: 経済学部棟7F中会議室

司会:金奉吉(富山大学)

報告1:Hyoungsoo ZANG(Hanyang University)
The realistic process of Korean unification and harmonized privatization of national properties in the unified Korea"

討論者1:三村光弘(ERINA)

報告2:Hojin Jeon(Seoul Cyber University)
An Empirical Study on the Business Performance

Before and After U.S Listed in China Firms

討論者2:金丹(東京理科大学)

報告3: Insang HWANG (International Christian University)

Market Structure and Technology Growth: Electronics Industry of Korea and Japan

討論者3:川口智彦(日本大学)

14:00~18:00 シンポジウム

テーマ:北東アジアの国際関係の打開と発展~地域間交流の現状と課題

会場: 経済学部棟7F大会議室

司会:佐渡友哲(日本大学)

報告1:熊谷和哉(環日本海環境協力センター)
日本・アジアの環境協力の現状について

報告3:崔永鎬(韓国・霊山大学)
釜山市と福岡市の、地域間交流の現状と課題

報告2:尹明憲(北九州市立大学)
国交・国策を補完しうる地方間交流の可能性と要件 ~ 山陰と北九州の事例を中心に ~

報告および討論
倉嶋清吾(富山・中国ネットワーク)
中山賢司(創価大学)
堀内賢志(早稲田大学)

18:00~ 懇親会(富山大学五福キャンパス内AZAMI)会費:5000円

10月18日(日)

9:30~11:30 分科会 A(A-2分科会のみ9:00~11:30)

A-1 中国経済

会場:B3-112 (311)

司会:松野周治(立命館大学)

報告1:朱美華(東京大学)・荒木徹也(東京大学)
情報非対称性の解消が中国の食品安全問題の改善可能性についての理論研究

討論1:酒井富夫(富山大学)

討論2:松野周治(立命館大学)

報告3:朴美善(福島大学)・厳成男(新潟大学)
中国労働市場における雇用満足度の地域間格差に関する一考察

報告2:穆堯芋(ERINA)
地域政策の視点から見る「一帯一路」

討論3:李鋼哲(北陸大学)

A-2 朝鮮半島 (9:00 開始)

司会:川口智彦(日本大学)

会場:B3-301 (331)

報告1:Jung Kwangsub (京畿大学)

多文化受容性の因果構造に対する実証的分析

討論1:熊谷明泰(関西大学)

報告2:縄倉晶雄(明治大学)

政府主導型有機食品奨励政策の課題:韓国とEU諸国との比較から

討論2:川口智彦(日本大学)

報告3:松尾修二(福井県立大学)

韓国のASEANへの直接投資の動向と貿易への影響

討論3:金奉吉(富山大学)

報告4:宮塚寿美子(國學院大學栃木短期大學)

日本における脱北者の実態

討論4:三村光弘(ERINA)

A-3 国境問題

司会:林堅太郎(立命館大学)

会場:B3-305 (332)

報告1:李晨・尹清洙(長崎県立大学)

福建省における自由貿易試験区導入の意義とその経済効果分析

討論1:唱新(福井県立大学)

綏芬河の事例を中心に

討論2:堀内賢治(早稲田大学)

報告2:朱永浩(福島大学)

中国国境地域における交通インフラ整備と国際陸上輸送～

報告3:大西広(慶應義塾大学)

延辺朝鮮族自治州における北朝鮮情報

討論3:朱永浩(福島大学)

12:00～13:30 総会

会場:B3-401 (341)

13:30～15:30 分科会B

B-1 国際関係

司会:若月章(新潟県立大学)

会場: B3-112 (311)

報告1:前田幹博(早稲田大学)

非伝統的安全保障による東アジアの地域統合を目指して:欧州統合理論より

討論1:横田将志(日本大学)

1990年代初頭北東アジアにおける多国間安全保障枠組み

討論2:佐渡友哲(日本大学)

報告2:竹村卓(富山大学)

報告3:魏志江 / 魏冊(中国・中山大學)

日中韓三カ国の非伝統的安全協力及び趨勢について

討論3:若月章(新潟県立大学)

B-2 流通・観光・環境

司会:辻久子

会場:B3～301 (331)

報告1:青木卓志(金沢星稜大学)

インバウンド政策における地方広域圏の特徴と受入れ対策に

関する基礎分析

討論1: 梁春香(東洋大学)

報告2: 尹清洙 / 山本裕(長崎県立大学)

応用一般均衡モデルによる長崎県の物流と経済の実証分析

討論2: 山本雅資(富山大学)

報告3: 金丹(東京理科大学) / 森俊介(東京理科大学)

SSP・RCPシナリオの下での最終需要変化によるアジア地域
経済への環境経済影響

討論3: 尹清洙(長崎県立大学)

B-3 中国経済 II (一部中国語による報告・討論)

司会: 唱新(福井県立大学)

会場: B3-305 (332)

報告1は取り消しとなりました。

報告2: 張会恒(安徽財經大学)

長江経済圏における発展戦略について

討論2: 唱新(福井県立大学)

報告3: 傅春(南昌大学)

中国の中部地域における比較優位産業と東アジアとの協力
可能性について

討論3: 嚴成男(新潟大学)

総会・理事会・常任理事会議事

第8期第2回理事会報告

概要

とき 2015年10月17日(土)9:30-12:20

ところ 富山大学・五福キャンパス経済学部棟 4F共
同研究室

参加者 (順不同・敬称略): ベロフ、鹿島、新井、今
村、李鋼哲、川口、高橋、堀内、櫛谷、野村、
大西、岡本、坂田、松野、詹、竹味、尹清洙、
尹明憲、三村、齋藤(監事)

報告事項

[1] 事務局消息

三村光弘事務局長から、第8期第1回理事会以降の事務局
消息について報告があった。

[2] 学会誌編集委員会報告

高橋和常任理事・「北東アジア地域研究」編集委員会委員
長から、「北東アジア地域研究」第21号が2015年8月31日発
行されたとの報告があった。

今村弘子副会長・「Frontiers of North East Asian
Studies」編集委員長から、FES第14号が2015年10月に発行
されたとの報告があった。また、今号で編集委員会が交代す
ること、堀内賢志理事を時期の英雑誌編集委員長に推薦す

る旨の発言があった。

[3] 第21回大会準備状況

三村光弘事務局長から、第21回大会準備状況(内容は今
号の報告と重複するので省略)についての報告があった。

[4] 地域研究会の開催

三村光弘事務局長から、関西地域研究会(2015年7月25日
開催)についての開催報告があった。

[5] 中国マクロ経済管理教育学会との交流

三村光弘事務局長から、中国マクロ経済管理教育学会大
会(2015年9月19日)への招請と会員派遣についての報告が
あった。

協議事項

[6] 2014/15年度事業報告・決算案、会計監査について

三村光弘事務局長から、2014/15年度事業報告・決算案
について、新体制にもとづく分業体制の協調がうまくいかず、
決算報告に必要な証憑の一部(2014年8月~9月の入金伝票
6枚)が期限内に準備できず、会計監査を受けられない状態
であることが報告され、齋藤監事からは書類が整っていない

ため、まだ監査ができていない状況であり、欠けている証憑以外の部分の監査をしてみないと、どのような結果となるかまだわからないとの発言があった。

証憑を入手できなかったのは、ゆうちょ銀行の「権利能力なき社団」に対する規制強化により、昨年の総会で決議した会則では事務局長の名義変更が不可能であった(今年の総会でその部分を補完して修正する予定)ための問題であった。

[7] 2015/16年度事業計画・予算について

証憑が揃うまで正式の監査ができないことから、2015/16年度事業計画・予算は暫定予算として組むこととした。

対策として、監査を待ち18日の総会前に第8期第3期理事会を開催して、暫定決算、暫定予算を内容とする総会議案の審議を行うこととした。

[8] 会則(一部)変更について

附則にあった事務所の場所の規定を第1章に移し、第1条の2として規定する。これは郵便貯金口座、郵便振替口座を「権利能力なき社団」として使い続けるため(歴代の事務局長の名義に変更されてきた)に、昨今のマネーロンダリング規制等で口座の管理に厳しくなったゆうちょ銀行の指導による。なお、事務所の場所は会計の勤務地とすることとした。

[9] 会計監事の選任(追加)について

第8期第3回理事会報告

概要

とき 2015年10月17日(土)9:30-12:20

ところ 富山大学・五福キャンパス

参加者 (順不同・敬称略): ベロフ、鹿島、新井、今村、李鋼哲、川口、高橋、堀内、櫛谷、野村、大西、岡本、坂田、松野、詹、竹味、尹清洙、尹明憲、三村

報告事項

[1] 監査について

三村光弘事務局長から、監査結果について、欠けている6枚の証憑以外について前日に齋藤監事による監査をしていただいたところ、おおむね正確に処理されているが、欠けている証憑がある以上、正式の監査は行えず、証憑が整い次第再び監査を行うという監査意見をいただいたとの報告があった。

協議事項

[2] 2014/15年度事業報告・暫定決算案、会計監査について

三村光弘事務局長から、2014/15年度の事業報告・決算案について、監査意見に従い、暫定決算案として総会に諮ることが提案され、承認された。

大西広会長から、2名が定員であるが、1名欠けていた会計監事について、竹村卓会員にお願いすることが提案され、承認された。

[10] プログラム委員会のメンバーについて

山本雅資会員(富山大学)より、今大会限りでプログラム委員会のメンバーを退任したいという申し出があり、承認された。新たな人選については、川口智彦常任理事・プログラム委員会委員長を中心として検討していくこととなった。

[10] 常任理事の選任について

大西広会長から、堀内賢志理事が次期英雑誌編集委員長に就任することと関連し、和雑誌編集委員長は『北東アジア地域研究』編集要綱で常任理事から選出するものとされていることから類推し、英雑誌でも同様の措置をとることが必要であることから、堀内賢志理事を常任理事とする提案がなられ、承認された。

次回の予定

第8期第4回常任理事会

とき 2015年12月23日(日)14:00-

ところ 慶應義塾大学三田キャンパス

議題 決算・予算について/第22回学術研究大会について/人事について/その他

(了)

[3] 2015/16年度事業計画・予算案について

三村光弘事務局長から、2015/16年度の事業計画・予算案について、決算が暫定であることから、2015/16年度事業計画・暫定予算案として総会に諮ることが提案され、承認された。

北東アジア学会2015/16年度総会報告

概要

日時：2015年10月18日（土）12:00～13:30

会場：富山大学・五福キャンパス

報告事項

[1] 事務局消息

- 新入会員の登録(随時)、会費請求(2015年3月)、長期滞納者への対応(退会のための準備)。学会ホームページの更新(随時)
- つうしんの発行ができなかったため、2015/16年度は簡易な体裁であっても、時機に合った迅速な発行を行う。

協議事項

[1] 人事

- 会計監事に竹村宅会員を選出(中藤会員の欠員補充)
- 常任理事に堀内賢志会員(現理事)を選出(英雑誌編集委員長候補者として)

[2] 会則変更

- 附則にあった事務所の所在地を第1章に移し、第1条の2として規定。合わせて規約上の所在地を会計の勤務先に変更(ゆうちょ銀行の口座名義変更のために必要。)

[3] 2014/15年度事業報告、暫定決算案、会計監査

(1) 第20回記念大会

- 2014年9月20日～21日 於 日本大学国際関係学部三島校舎(三島市)
- テーマ:「北東アジア国際関係の打開と発展——北東アジア学会の役割の再認識」
- 詳細は、『北東アジア地域研究』21号を参照

(2) 理事会・常任理事会

- 第8期第1回理事会(2014年9月20日)日本大学国際関係学部三島校舎
- 第8期第1回常任理事会(2014年12月27日)慶應義塾大学三田キャンパス
- 第8期第2回常任理事会(2015年4月18日)慶應義塾大学三田キャンパス

- 第8期第3回常任理事会(2015年7月11日)富山大学五福キャンパス

(3) 地域研究会

- 北陸地域研究会(2014年12月7日)ホテル金沢(金沢市)環日本海国際学术交流協会と共催
- 新潟地域研究会(2014年12月20日)新潟大学五十嵐キャンパス
- 九州地域研究会(2015年1月16日)西南学院大学東キャンパス
- 新潟地域第2回研究会(2015年2月28日)新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
- 関東地域研究会(2015年7月4日)東洋大学白山キャンパス
- 関西地域研究会(2015年7月25日)大阪商業大学

(4) サテライト研究会

- 関東地区サテライト研究会(2014年12月27日)慶応義塾大学三田キャンパス
- サテライト研究会(2015年7月6日)富山大学五福キャンパス

(5) 会員動向

- 会員数262名(一般215、学生44、賛助3)。前回大会後の増加16名、減少3名(うち2名は物故者、退会の意思表示1名)うち、52名については長期滞納のために近々退会となる予定。その場合、会員数は210名となる。

(6) 学会誌編集委員会

- 和雑誌21号(2015年8月31日発行)
- 英雑誌14号(2015年10月発行)次号から編集委員長が交代

(7) 国際交流

- 韓国北東亜経済学会大会(2015年2月24日)に今村弘子、李鋼哲、吉田央の3会員を派遣(発表)
- 中国マクロ経済管理教育学会大会の2014年秋の大会には、会員の派遣要請があったものの、開催校の都合で取り消されたので、派遣はなし

[3] 2015/16年度事業計画、暫定予算案、会計

(1) 第21回大会準備状況(すでに報告済みのため省略)

(2) 北東アジア学会優秀論文賞、学生奨励賞について

● 2014/15年度分の北東アジア学会優秀論文賞、学生奨励賞の推薦を11月20日消印締め切りで受け付けることに決定。なお、北東アジア学会優秀論文賞については、今年8月末のものまでを推薦期限とする。

● 2015/16年度分の募集については、2015年9月1日～2016年5月31日に発表されたものが対象→2016年夏に期日を決定して推薦を受け付け。北東アジア学会学生奨励賞→2016年春～夏に期日を決定して推薦を受け付け。

(3) 国際交流

● 2016年2月中旬開催の韓国北東亜経済学会大会

に会員を派遣(3名)。派遣する会員のうち、北東アジア学会優秀論文賞の副賞対象者以外は公募する。

● 中国マクロ経済管理教育学会大会(2015年9月19日)への招請と会員の派遣(三村事務局長)。招請が直前であったので、公募が間に合わず、とはいえ参加しないわけにもいかないので、執行部で対応した。1 2016年秋に開催予定の同学会の大会に会員を派遣(若干名)。派遣の詳細は先方の学会開催案内が到着次第会員に周知し、公募する方向性で検討。

[4] 次回、次々回大会

● 次回(22回)2016年10月8日(土)～9日(日) 慶應義塾大学三田キャンパス(田町)

● 次々回大会Iの開催希望校を募集する(2015年12月23日の常任理事会までに応募を受け付ける。申込先:事務局へメール)

北東アジア学会優秀論文賞の推薦受付について

「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者の育成を目的として、学会設立10周年を記念して設立されました。今年度も、下記の日程で、推薦を受け付けています。

被推薦対象論文 「北東アジア地域研究」第21号をはじめとする、2014年6月1日から2015年8月31日までに公刊された査読付単著論文

被推薦対象者 当該論文発表時に40歳未満である学会員(会費を完納していること)

推薦方法 2015年11月20日(消印有効)までに推薦状(指定様式)とともに、当該論文の抜刷5部を添えて学会事務局に提出

〒950-0078

新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階

環日本海経済研究所内

北東アジア学会事務局 あて

025-290-5545

表彰 審査を経て、表彰

副賞 韓国東北亜経済学会(2016年2月16ないし17日)での研究報告(航空運賃等の費用を5万円を上限として本学会が負担)

詳細・問合せ先 学会事務局 jimukyoku@anears.net

優秀論文賞選考規定

<http://www.anears.net/jm/rombunsho.pdf>

優秀論文賞推薦状の様式は、こちら(.doc形式/.pdf形式)。

<http://anears.net/jm/form07.doc>

<http://anears.net/jm/form07.pdf>

北東アジア学会優秀論文賞の推薦受付について

本学会では、各年度に提出された卒業論文等について、特に優秀なものを北東アジア学会学生奨励賞として表彰しています。2014年度につきましても、11月20日消印締め切りで推薦を募集します。推薦をされたい方は、事務局に「北東アジア学会学生奨励賞推薦状」をご請求の上、ご記入いただき、推薦する論文1部を添付して、事務局にお送りください。

〒950-0078

新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階

環日本海経済研究所内

北東アジア学会事務局 あて

jimukyoku@anears.net

025-290-5545

第23回大会の開催校募集について

2017年秋に開催される、第23回大会の開催校を募集します。時期は例年どおりですと2017年10月の週末となります。開催を希望される会員は2015年12月18日(金)までに事務局(jimukyoku@anears.net)までメールでお知らせください(事

務局長は現在、中国で在外研究中のため、郵便や電話ですと勤務先からの連絡を受けたうえ、折り返し電話での対応となり、時間がかかります)。

事務局からのお知らせ

[1] 会費納付のお願い

(1) 2015/16年度会費の納付について

2015/16年度の会費納付をお願いいたします。近々、会費納付のご案内をお送りしますので、金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、同封の郵便振替払込票をご利用ください。

なお、定年退職された方を対象に「優待会員」の制度を設けました。これはご希望に従い会員種別を変更し、一般会員よりも低い会費を適用するもので、会員種別の変更届が必要です。詳しくは、会費納付のご案内の際にお知らせいたしますので、お手続き下さい。

年会費	一般	10,000円
	学生	5,000円
	優待	5,000円
	賛助	20,000円

ゆうちょ銀行郵便振替口座

口座番号 00990-3-117008
口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その1

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)
支店名 ヨシサンハチ 四三八(支店コード438)
口座種別・番号 普通8097831
口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その2

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)
支店名 ゼロキューキュー 〇九九(支店コード099)
口座種別・番号 当座0117008
口座名義人 北東アジア学会

編集後記

「つうしん」第48号は、第21回記念学術研究大会を中心にお伝えしました。「つうしん」の発行が途絶え、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。おかげさまで、事務局の活動はやっと軌道に乗り、郵便振替口座の名義変更や振込用紙の受け取りなど、会費納付事業に関連しても正常化のめどが立ちました。引き続き、みなさまのお力添えのほど、よろしくお申し上げます。

【三村光弘】

銀行振込(ゆうちょ銀行総合口座(旧・ぱるる)から)

記号 14380
番号 80978311
口座名義人 北東アジア学会

[3] 会員への／との情報提供・交換について

第8期事務局では、会員への情報提供、会員との情報交換のためのツールとして、ウェブサイトや電子メールを抜本的に積極活用していくことにしています。

本学会でも多くの会員のみなさまが、すでに電子メールアドレスを学会事務局にご連絡いただいております。これをベースに各種システムのデザインを、今後も順次行なっていく予定です。また、電子メールアドレスをご連絡いただいていない会員のみなさまには、これを機会に電子メールやウェブサイトの活用をご検討いただければ幸いです。

なお、メーリングリストの不達が散見されております。メールアドレスを登録されているにもかかわらず、学会のメーリングリストを受け取られていない方は至急、事務局までお知らせください。

[4] 学会ウェブサイト会員専用領域へのアカウントとパスワード

アカウント anears パスワード TOra1001

(てい・おー・あーる・えー・いち・れい・れい・いち)

学会ウェブサイト会員専用領域では、「環日本海研究」「北東アジア地域研究」の創刊号からのすべての論文をpdf形式で、会員向けに提供しています。ぜひご利用ください。

アカウント、パスワードとも、大文字小文字の違いを認識します。変更時には、「つうしん」にてお知らせいたします。